

湖北



ウェブサイト「長浜テイクアウト」をPRする担当者

新型コロナウイルス感染拡大が外食産業に影響を及ぼす中、商品の持ち帰りが可能な飲食店を紹介するウェブサイト「長浜テイクアウト」(URL: <https://nagahama-takeout.com/>)が人気を集めている。長浜商工会議所や長浜市商工会などをつくる「長浜ビジネスサポート協議会」(大塚敬一郎代表理事)が、苦境に立たされている飲食店を応援しようと開設した。

ウェブサイトは4月23日、長浜市内の19店を掲載してスタートした。その後、掲載店数は増え、5月1日現在でレストランや焼き肉店など58店が登録した。テイクアウトを利用したい人は、ウェブサイトに掲載されている情報をもとに注文し、各店で商品を受け取る。

担当者は「テイクアウトメニューを紹介することで、厳しい状況にある飲食店を少しでも応援したい」と話している。【長浜通信部・若本和夫】

長浜

「飲食店を応援しよう！」
テイクアウト紹介サイトが人気認証30周年記念誌を発刊
国際ソロプチミスト長浜

長浜



「国際ソロプチミスト長浜」の30周年記念誌

社会的な奉仕活動に取り組む団体「国際ソロプチミスト長浜」(平山博子会長)が認証30周年を祝う記念誌を発刊した。

国際ソロプチミストは女性による世界的な奉仕団体。「国際ソロプチミスト長浜」は1989年11月に県内4番目の組織として誕生し、30年間にわたり、車いすや介護用ベッドの寄贈、公園での植樹、社会福祉団体への支援金などに加え、ネパールでの女性教師養成プロジェクトへの支援など幅広い活動を続けてきた。表紙に長浜曳山まつりで演じられる子ども歌舞伎の写真を配した記念誌はA4判、オールカラー28ページ。30年の歩みや活動がカラー写真付きで紹介されているほか、三日月大造知事や藤井勇治・長浜市長、平尾道雄・米原市長らも祝辞を寄せている。

【長浜通信部・若本和夫】

湖東

彦根

カラフル切り絵展
愛知川駅構内

彦根市正法寺町の川端澄代さん(78)がこのほど、近江鉄道愛知川駅(愛荘町)にある交流施設「るーぶる愛知川」で、切り絵展を開いた。写真、地元の風物などを題材にした14点を出品した。

特に目を引いたのが米原子供歌舞伎を題材にした3点。下地に多彩な和紙を貼るなどして、子供たちの衣装が鮮やかに浮かび上がった。このほか永源寺(東近江市)▽近江神宮かるた(大津市)▽旧愛知郡役所(愛荘町)▽芹川のおつい日(彦根市)▽左義長まつり(近江八幡市)——といった作品も。川端さんは福岡県出身で結婚後、関西に移り住んだ。公民館講座をきっかけに40代から切り絵に取り組み、2018年には彦根市文化功績者表彰も受けている。「自然と歴史が豊かな滋賀県が大好きです」と話していた。

小川に300匹こいのぼり
彦根市の住宅地

彦根

彦根市小泉町の住宅地を流れる戸賀川に、4月中旬から大型連休にかけて、こいのぼり約300匹が飾られた。写真。初夏の日差しを受けて川面を泳ぐ様子が、新型コロナウイルス禍で遠出できなかった住民らの目を楽しませていた。



描きした作品も加わった。「コロナに負けるな」などと標語を書いたのぼりもたなびいていた。【伊藤信司】